



平成29年1月25日  
内閣府沖縄担当部局

## 平成28年度北部振興事業の実施について（第5回）

### 1. 事業の概要

沖縄県及び北部市町村の要望に基づき、定住条件の整備、産業の振興に資する事業を実施。

### 2. 今回配分の状況（国費ベース）

非公共事業
継続3事業
今回配分額 17.4億円

（参考） 前回までの配分(4月1日、8月26日、  
10月17日)と合算した配分額合計  
◇非公共事業 25.7億円

※詳細は別添資料のとおり

（参考）

<予算計上>

○沖縄北部連携促進特別振興事業費（非公共事業） 平成28年度予算額25.7億円  
・補助率：8／10

<今回の配分の考え方>

○沖縄県の均衡ある発展を図る観点から北部地域の振興に資する事業に対し配分する。  
○配分対象の事業は、北部12市町村より北部地域の振興に資するものとして要望されたもの。

\*問合せ先\*

政策統括官(沖縄政策担当)付 (担当 高橋、末永) 電話 03-6257-1693 FAX 03-3581-9761
---

## 平成28年度に実施する振興事業について

平成29年1月25日

## 【非公共事業】

テーマ：産業の振興

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	28年度事業費 (うち国費)
金融・IT産業等集積基盤整備事業 (みらい5号館)  (名護市)	平成26年度 ～ 平成29年度	1,077百万円 (862百万円)
<p>名護市はこれまで、金融・情報通信関連企業の入居施設であるマルチメディア館、みらい1～4号館の整備などの企業誘致施策を推進し、北部地域の雇用創出に効果を上げている。また、平成26年4月に経済金融活性化特別地区に指定され、更なる企業進出が見込まれるが、オフィスの不足により企業集積に支障をきたしており、雇用機会の損失を招いているため、企業集積を図る施設整備により、北部地域の雇用拡大と産業の振興を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	28年度事業費 (うち国費)
沖縄北部地域水産業生産基盤機能強化事業  (本部町)	平成27年度 ～ 平成28年度	584百万円 (467百万円)
<p>漁獲物の急速冷凍による鮮度保持のため製氷施設を整備するとともに、港内での漁業用作業車両と観光客等の安全を確保するため荷捌き施設の整備を行うことにより、近隣各漁協の共同利用による生産性の向上、本部半島地域での水産業の活性化を図る。</p> <p>(担当省庁) 農林水産省(水産庁)</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	28年度事業費 (うち国費)
今帰仁冷凍冷蔵施設整備事業  (今帰仁村)	平成27年度 ～ 平成29年度	509百万円 (407百万円)
<p>農業や漁業が盛んな北部地域の農水産物等は、観光客を始め県内外からのニーズが高くなってきており、これら製品の鮮度を保ちながら安定的に供給するには、冷凍冷蔵設備を有する保管施設が必要となっているため、離島と本島を結ぶ北部海運の要衝にある運天港において、冷凍冷蔵施設を整備することにより、地域が連携した効率的な物流体系を構築して農水産業の振興を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

# 平成28年度 北部振興事業(非公共)(5次配分)配分事業箇所位置図

